

平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/> 担当者							村石、北澤 3137、3139
	全体計画		経費区分	-	内線			
事務事業名	4044 地域活性化事業							
所 属	050200 総務部・政策推進課							
施 策	07023900 特色をいかした地域振興の推進							
予算 科目	会計	01 一般会計						
	科目	020114 総務費・総務管理費・地域振興費						
	事業	010000 地域活性化事業						
事業目的				事業概要・効果				
地域づくりの理念に基づき、市民との共創で須坂市に しかない地域資源を全国に発信する事業を企画実施し 、須坂ブランドを確立し育て、交流人口を増やすと ともに市民の誇りや地元愛を醸成する。				「まち歩き誘導型情報配信プラットフォーム（須坂まち ウォーク）」により地域資源を全国にPRするととも に、「STVすこうチャンネル番組」により市民の誇り や地元愛を醸成する。 また、「クリスマスレクチャーin須坂」の開催により 科学等の面白さを地域に広めるとともに、参加者の交 流を深める。				

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
「まち歩き」誘導型情報配信プラットフォーム（須坂ま ちウォーク）」の運用等による情報発信、「結婚相談 事業」の委託や「クリスマスレクチャーin須坂」の開 催等により、地域活性化を図った。	「まち歩き誘導型情報配信プラットフォーム（須坂ま ちウォーク）」による情報発信、「結婚相談事業」の委 託や「クリスマスレクチャーin須坂」（科学を中心に 各分野から著名な方を招いて講義を行う）の開催等 により、市民の地域活性化を図る。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	須坂まちウォーク				
算式	ダウンロード数				単位 件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	800			
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名	クリスマスレクチャーin須坂				
算式	参加者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	1,020			
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		4,941	11,855
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	761	0
	地方債	0	0
	その他	1,619	5,000
一般財源		2,561	6,855
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.6
	嘱託職員	0.5	0.5
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	5,045.6	4,324.8
	嘱託職員	1,352.5	1,352.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	6,398.1	5,677.3
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		11,339.1	17,532.3

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	80	謝礼
11節 需用費	7	消耗品
13節 委託費	2,213	地域情報チャンネル番組制作 結婚相談事業
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,300	「クリスマスレクチャーin須坂」実行委員会負担金
その他	1,341	費用弁償 地域づくり団体等活動支援貸付金

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	137	謝礼
11節 需用費	60	消耗品費 食糧費
13節 委託費	5,466	STVすこうチャンネル番組制作、須坂まちウォーク運用 結婚相談事業
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,002	「クリスマスレクチャーin須坂」実行委員会負担金 会議出席負担金
その他	5,190	費用弁償 地域づくり団体等活動支援貸付金

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	地域を活性化させるためには、須坂の魅力ある様々な地域資源を市内外に情報発信することが必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	「須坂まちウォーク」の運用など各種事業を通じて地域資源を発信することにより、須坂市の様々な魅力を市内外にPRできている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	「須坂まちウォーク」のコストを見直し、委託料を削減している。 STVすこうチャンネル番組制作や須坂まちウォークの運用、結婚相談事業については、業務を委託し、事務の軽減を図っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

PR事業等により須坂の認知度向上のために全国へ情報発信を行っているが、今後も地道に須坂をPRすることと、遠藤守信信州大学特別特任教授プロデュースによるクリスマスレクチャーにおいて、地域や地元高校生との関わりを大切にしながら、文化都市須坂としての意識の高揚を図ることは、今後も引き続き行っていく必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>須坂の認知度向上のために全国へ情報発信を行っている。今後も継続して地道に須坂をPRすることが大事である。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
2次評価コメント	
<p>須坂の魅力ある様々な地域資源を市内外に情報発信する方法について、ひと工夫が必要。クリスマスレクチャーは引き続き、関係機関との連携を図り、継続していくことが胎児である。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	
<p></p>	